

# 平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	02010206	区分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	飼い犬登録・狂犬病予防注射事業	担当部署名	住民課住民生活グループ		
		作成責任者職氏名	課長 尾谷 肇	内線	310
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	02健康・福祉	01健康増進の推進	02疾病予防の推進		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( 年度～ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等	
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	狂犬病予防法、大阪府動物愛護に関する条例、千早赤阪村狂犬病予防法施行細則 義務付け <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

## I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>狂犬病発生とまん延を防止し、及びこれを撲滅することにより公衆衛生の向上と公共の福祉の増進を図ることを目的とする。</p> <p>②内容</p> <p>飼い犬登録、狂犬病予防集合注射の実施、予防注射の接種指導、及び動物愛護条例に基づく飼い方指導</p>	<p>村内で犬を飼育している村民</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>飼い犬登録と狂犬病予防注射を実施することにより、狂犬病の発生を予防することに寄与する。</p>	<p>登録と最初の注射を行い、その後狂犬病予防法で定められた年1回の予防注射の接種を受けない飼い主が多い。</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	22 年度 実績	23 年度		24 年度 事業費(見込)	25 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	186	430	393	153	153			
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
その他の特財								
一般財源	186	430	393	153	153			
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.20	0.20	0.30	0.30	0.30		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,244	1,244	1,865	1,865	1,865		
総コスト費(千円)(A+C)	1,430	1,674	2,258	2,018	2,018			
人口あたりコスト(円)	232	272	366	328	328			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23 年度			24 年度 目標値	25 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	狂犬病予防注射済票発行数	頭	450	415	92%	450	450
②	目標指標							
③	目標指標							

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	村内で犬の飼育している村民を対象に犬の登録制や狂犬病の注射の予防接種を実施している。よって、飼い方の充実もでき、野犬の減少にもつながる。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	犬の登録制や狂犬病の注射の予防接種を実施していることから、飼い方の充実や野犬の減少にもつながる効果がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	犬の登録制や狂犬病の注射の予防接種は、各地域を巡回し、実施しているため効率は良い。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	犬の飼育している全村民を対象に実施している。

○事務事業評価値 (①~④の合計/16) **15** / 16 **94%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
92%	94%	93%	a
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	← A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
B	
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
引き続き、法令を遵守し、狂犬病の予防を促進する。	

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
飼い犬登録・狂犬病予防注射事業については、飼い犬の狂犬病予防意識を高めることが重要であり、引き続き実施すべきと考える。 今後、広報紙や個別通知など周知徹底し予防注射の接種の向上、啓発を促進していくべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
飼い犬登録・狂犬病予防注射事業については、飼い犬の狂犬病予防意識を高めることが重要であり、引き続き実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し

今後、広報紙や個別通知など周知徹底し予防注射の接種の向上、啓発を促進していくべきと考える。

U  
D: 縮小  
E: 休止・廃止